



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場会社名 株式会社 日本マイクロニクス 上場取引所 東
コード番号 6871 URL <https://www.mjc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 正義
問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 片山 ゆき TEL 0422-21-2665
管理本部副本部長
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	11,794	20.7	2,508	27.1	2,405	31.3	1,271	14.8
2023年12月期第1四半期	9,769	△0.4	1,974	△8.7	1,832	△17.3	1,107	△12.0

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期1,851百万円(68.3%) 2023年12月期第1四半期1,099百万円(△29.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	32.95	—
2023年12月期第1四半期	28.71	28.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	58,526	41,778	71.4
2023年12月期	55,849	41,200	73.8

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 41,778百万円 2023年12月期 41,200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	0.00	0.00	0.00	33.00	33.00
2024年12月期	0.00	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年12月期の期末配当予想は、通期連結業績予想を公表する第2四半期決算発表において、開示する予定です。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	53.1	5,900	237.1	5,800	269.5	3,800	232.4	98.50
第3四半期(累計)	40,000	56.7	8,800	230.4	8,700	217.9	5,900	239.8	152.93

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日(2024年5月13日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 当社グループは、各四半期の決算発表時点で2四半期先の業績予想を開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	40,025,316株	2023年12月期	40,025,316株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	1,445,388株	2023年12月期	1,443,877株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	38,580,510株	2023年12月期 1 Q	38,563,921株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2024年5月13日に当社ホームページへ掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、欧米を中心とした金融政策の引き締めによるインフレ抑制効果が徐々に表れました。しかし、ウクライナや中東における不安定な情勢、中国経済の回復鈍化が景気の下押し要因となり、世界経済の回復基調は緩慢なものとなりました。

半導体市場においては、主要なメモリ半導体メーカー各社の減産による在庫調整と、需給の引き締めによる価格上昇を受け、回復傾向となりました。一方、落ち込んでいたパソコンやスマートフォンは調整が一巡したものの、需要そのものの回復には至っておりません。そうした中、AIサーバーへの投資意欲は引き続き旺盛で、HBM（高性能メモリ）を中心としたメモリ半導体の需要が盛り上がりました。

ロジック半導体でも、在庫調整の進展や、AI関連による先端ノードの需要拡大が半導体メーカーへの追い風となりましたが、市場全体としての回復にはまだ時間がかかるとみられています。

FPD市場においては、需要の回復に伴い、パネル価格が緩やかに上昇しており、パネルメーカー各社の収益も改善傾向にはあるものの、本格的な設備投資を喚起するほどの力強さは見られません。

このような事業環境において、当社グループの当第1四半期連結累計期間は、プローブカード事業においては、メモリ半導体の高い需要が継続したことから、想定を上回る売上高を計上しました。TE事業においても、想定を上回る結果となりました。他方、将来に向けた新製品開発などを推進したことで、研究開発費を中心に販管費が前年同期比で増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11,794百万円（前年同期比20.7%増）、営業利益2,508百万円（前年同期比27.1%増）、経常利益2,405百万円（前年同期比31.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,271百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

<セグメントの状況>

（各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。）

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① プローブカード事業

AI関連半導体の需要増によるメモリ向けプローブカードの受注残を効率よく出荷することができました。その結果、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、売上高は11,302百万円（前年同期比19.3%増）、セグメント利益は3,249百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

② TE事業

半導体市場の一定の回復を受け、テストソケットなどの検査機器が安定的な売上を計上したことで、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、セグメント損失を計上いたしました。

この結果、売上高は491百万円（前年同期比65.3%増）、セグメント損失は103百万円（前年同期は311百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,676百万円増加し、58,526百万円となりました。現金及び預金が1,055百万円、棚卸資産が842百万円、流動資産の「その他」に含まれる未収消費税等が755百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,098百万円増加し、16,747百万円となりました。支払手形及び買掛金が1,170百万円、未払法人税等が907百万円、賞与引当金が714百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ578百万円増加し、41,778百万円となりました。為替換算調整勘定が333百万円、その他有価証券評価差額金が262百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが属する半導体、FPD市場の直近の市場環境及び動向等を踏まえ、2024年2月14日に公表した2024年12月期第2四半期累計連結業績予想を見直すとともに、2024年12月期第3四半期累計連結業績予想を開示いたしました。詳細につきましては、本日(2024年5月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,989	19,045
受取手形、売掛金及び契約資産	8,224	7,238
製品	865	1,155
仕掛品	4,289	5,083
原材料及び貯蔵品	2,374	2,132
その他	868	1,591
貸倒引当金	△40	△40
流動資産合計	34,571	36,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,231	5,185
機械装置及び運搬具（純額）	4,129	4,246
その他（純額）	8,420	8,791
有形固定資産合計	17,781	18,222
無形固定資産	1,004	1,022
投資その他の資産		
投資有価証券	773	1,151
退職給付に係る資産	211	206
その他	1,720	1,943
貸倒引当金	△214	△227
投資その他の資産合計	2,491	3,074
固定資産合計	21,277	22,319
資産合計	55,849	58,526
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,010	6,180
短期借入金	966	676
未払法人税等	442	1,349
賞与引当金	1,106	1,820
役員賞与引当金	162	—
製品保証引当金	479	632
その他	3,919	3,615
流動負債合計	12,085	14,273
固定負債		
長期借入金	372	276
退職給付に係る負債	2,127	2,137
その他	63	59
固定負債合計	2,563	2,473
負債合計	14,649	16,747

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,018	5,018
資本剰余金	6,029	6,029
利益剰余金	29,047	29,045
自己株式	△1,275	△1,276
株主資本合計	38,819	38,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	367	630
為替換算調整勘定	1,836	2,169
退職給付に係る調整累計額	176	161
その他の包括利益累計額合計	2,381	2,961
純資産合計	41,200	41,778
負債純資産合計	55,849	58,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	9,769	11,794
売上原価	5,059	5,971
売上総利益	4,709	5,823
販売費及び一般管理費	2,734	3,314
営業利益	1,974	2,508
営業外収益		
受取利息	14	12
受取賃貸料	14	16
受取報奨金	52	—
その他	23	19
営業外収益合計	104	48
営業外費用		
支払利息	1	2
支払手数料	5	5
為替差損	238	144
その他	1	1
営業外費用合計	246	152
経常利益	1,832	2,405
特別利益		
固定資産売却益	0	0
新株予約権戻入益	56	—
特別利益合計	57	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	4	0
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	1,885	2,405
法人税、住民税及び事業税	707	1,205
法人税等調整額	71	△71
法人税等合計	778	1,134
四半期純利益	1,107	1,271
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,107	1,271

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	1,107	1,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	262
為替換算調整勘定	△56	333
退職給付に係る調整額	△10	△15
その他の包括利益合計	△7	580
四半期包括利益	1,099	1,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,099	1,851

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プローブ カード事業	TE事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,471	297	9,769	—	9,769
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,471	297	9,769	—	9,769
セグメント利益又は損失 (△)	2,854	△311	2,543	△569	1,974

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△569百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プローブ カード事業	TE事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,302	491	11,794	—	11,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,302	491	11,794	—	11,794
セグメント利益又は損失 (△)	3,249	△103	3,145	△636	2,508

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△636百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。